

国際世界遺産セミナー  
世界遺産登録推進シンポジウムの開催結果について

平成 26 年 2 月 18 日  
富 山 県

立山砂防を中心とする世界遺産登録推進へ向けたこれまでの取組みを幅広い県民の皆さんに紹介するとともに、世界遺産の現状や立山カルデラの歴史的砂防施設群について広く知ってもらうために、世界遺産登録推進シンポジウム「立山カルデラの防災遺産」を開催しました。パネルディスカッションでは活発な意見が出され、国内外の専門家から今後の取組み等に対する有意義な助言をいただきました。



第 1 部 世界遺産の現状 講演



第 2 部 立山カルデラの防災遺産  
パネルディスカッション

- 1 開催日 平成 25 年 9 月 29 日（日）13:30～16:40
- 2 場 所 富山国際会議場
- 3 参加者 約 400 名
- 4 主 催 国際世界遺産セミナー実行委員会（国、県、有識者で構成）
- 5 内 容

第 1 部 世界遺産の現状 13:50～14:40

① 基調講演 「世界遺産の現状」

講師 クリスティーナ・キャメロン氏（モントリオール大学教授）

② 活動報告

「4 日間で知った立山砂防の魅力」 ユースプログラム参加者（県内大学生）

「砂防事業とオッカチャン応援隊」 立山砂防女性サロンの会

第 2 部 立山カルデラの防災遺産 14:50～16:40

③ 講演「立山・黒部の世界文化遺産登録への取組み」 石井隆一（富山県知事）

④ パネルディスカッション

コーディネーター 西村幸夫氏（日本イコモス国内委員会委員長）

パネリスト 青柳正規氏（文化庁長官）

クリスティーナ・キャメロン氏（モントリオール大学教授）

アルフレッド・ルイス・コンティ氏（イコモス副会長）

アンドレアス・ゲッツ氏（前スイス環境庁次官）

稲葉信子氏（筑波大学大学院教授）

石井隆一（富山県知事）